

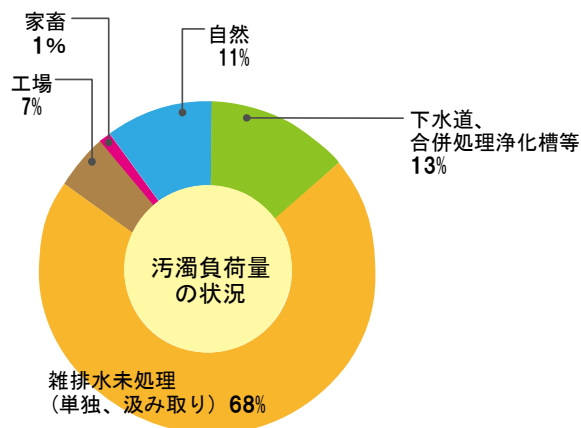
2. 遠賀川が抱える課題

「遠賀川の水は汚い」と思う人は依然として多く、実際に多くの問題を抱えています。

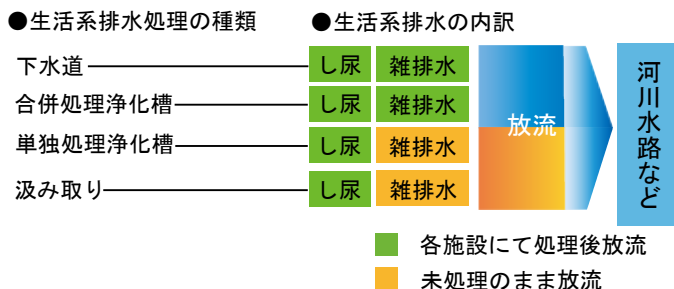
(1) 家庭排水による水質汚濁が顕著

- ・遠賀川の流域に暮らす人々が、生活のなかで使い、汚した水は、ふたたび遠賀川に戻ります。
- ・洗剤や食べもののかす、米のとぎ汁など汚れた水が大量に流れ込むと、BOD※¹が増加したり、プランクトンが大量に発生したりします。
- ・遠賀川流域では、依然として全体の約半地区近くの家で、生活排水がそのまま川に流されています。

※¹ BOD(ビーオーディー)とは、生物化学的酸素要求量という意味で、水の有機性の汚濁指標として用いられます。微生物が水中の有機物を分解するときに消費する酸素量として表され、この値が大きいほど、水の汚れの度合いが大きいことを表しています。



「福岡県汚水処理構想、H21.3、福岡県」及び市町村フレームアンケート結果から試算。



※単独処理浄化槽の新規設置は禁止されているため、以降では“浄化槽”とは、“合併処理浄化槽”のことをさす。

(2) ゴミ問題



- ・遠賀川の河川敷には、たくさんのゴミが捨てられており、川の景観を損ねています。
- ・それだけでなく、それらのゴミは梅雨時など大雨が降ったときには河口や海に大量に流れ、漁業などにも影響が出る場合があります。
- ・ゴミ問題は、上流の山間部でも深刻です。長年放置されたゴミが山間部の溪流付近に多くあり、ボランティアの皆さんや行政が回収作業を行ってもなかなか減りません。

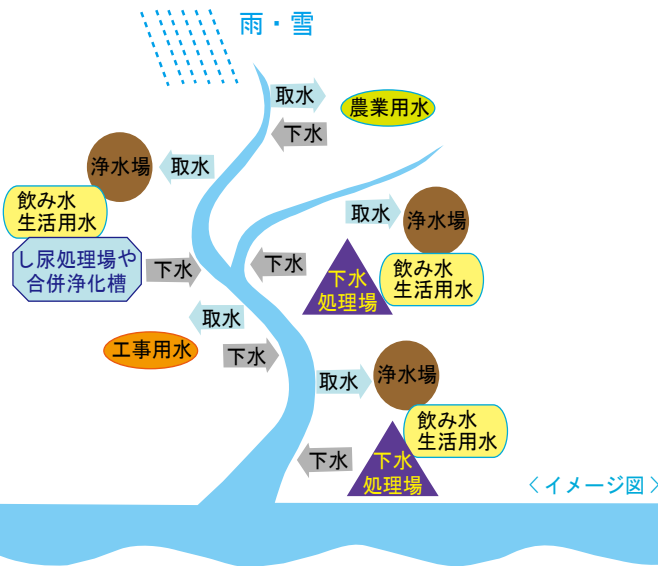
(3) 水質汚濁は生物(魚類)の生息にも影響

- ・遠賀川水系では、79種類の魚類の生息が確認されています。
(平成19年度調査結果より)
- ・こうした魚類の生息に影響を与える要因のひとつに水質汚濁があげられます。

<魚類が生息しにくい要因>

- 瀬、淵という川本来の姿が減少している
- 水際が直線的である
- 水際の植生が少ない区間がある
- 水量の変動が大きい
- 河川横断物により連続性が低下している
- 水が汚れている

(4) 安全でおいしい水の確保が急務



- ・上流から下流まで、たくさんの人が暮らす遠賀川流域では、飲み水や生活のための水道水や、農業に使うかんがい用水、工場でする工業用水などのために、川の水を利用しています。
- ・上流で取水され、水道水として使われた水は、下水として川に流れ込みます。その水は、消毒されて、さらに下流でふたたび水道水として利用されます。
- ・こうしたサイクルが、海に流れ込むまでの間に、なんども繰り返されています。
- ・したがって、川の水が汚れていると浄水場は安全でおいしい水道水にするのにととても苦労してお金もかかるようになります。

<水道事業者から出された主な課題>

- 河口堰貯水池では、水質が悪化して植物プランクトンが異常発生すると、カビ臭が発生しやすくなる。
- 河川水の有機物が多いと、浄水処理において、発ガン性があるトリハロメタンなどが生じやすくなる。
- カルキ臭の発生



河口堰貯水池でのアオコ発生状況 (H17. 6)